

秋の景色楽しみながらウォーキング



前橋ウォーキングジャンボリーが十一月二十三日、R前橋大島駅前の大島公園を発着点に開催されました。十、二十、三十の三コース合わせて五百人が参加。天気にも恵まれ、参加者は秋の景色を楽しみながら思い思いのペースで心地良い汗を流していました。

まえ ばし シティ フラッシュ



「昨日続きでも疲れは感

ます強め、全国の頂点を目指す

先月十一日に浜川市で行われた県中学校駅伝競走大会・女子で二連覇を果たした芳賀中のキヤプテン。一区を走り区間賞を取った。

「昨年優勝したので、チーム全員が大きなプレッシャーを感じながらのレースでした。練習の成果を發揮し、勝ててよかったです。わたし自身は区間新記録を狙っていたのですが、チームが優勝するために慎重になり過ぎてしまったことに、悔いが残っています」

さらに翌日には、福島市で開催された東日本女子駅伝で群馬県チームの八区を任せられ、連日の区間賞で快走を演じた。

「二日続きでも疲れは感

全国大会で優勝が目標です

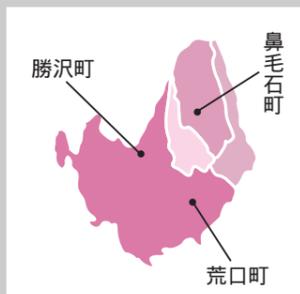


女子駅伝で大活躍
松村 厚子さん(15)
勝沢町

「今までは地域の皆さんの声援が力になっていきます。周囲の期待に応えて、大会で良い結果が出せるとうれしいですね。皆さんへ恩返しができるように、もっと頑張りたい。見る人に勇気を与えられるような走りを目指したい。全国中学校駅伝の目標はもちろん優勝です」

「昨日続きでも疲れは感

ふれあい広場



情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。

親ばく図るスポーツ大会

城南地区

十一月二十日、荒口町の荒砥中体育館で城南地区スマイルポウリング大会が行われました。この地区は日ごろからスポーツが盛んな地域で、大会には各自治会から四チームずつ、合計七十二チームが参加。五人一組で、いかに早く十本のピンを倒すか競います。総当たりのリーグ戦で、一部から四部までに分



かれた後、トーナメント形式で各部で優勝を目指しました。みんなさわやかな汗を流して、地域住民の交流がますます深まり、会場は一日中、たくさんの笑顔と声援であふれていました。

まちのニュース

文化祭通じて触れ合いを

宮城地区



秋の恒例行事の宮城地区文化祭が、十一月十九日・二十日の二日間、鼻毛石町の宮城公民館で行われました。

多目的ホールでは、踊りや合唱など三十四団体が出演。それぞれが、日ごろの練習成果を披露し、訪れた人たちの拍手喝さいを浴びました。会議室や廊下には、書道や陶芸など、幅広い年代層の作品もずらり。文化交流を深めました。

実行委員長の石橋徳三さんは「住民との触れ合いが深まり、お互いに学び合える大事な行事ですね」と話していました。

若い芽のポエム贈呈式



十一月十二日に文学館で「若い芽のポエム」の入賞者へ贈呈式が行われました。大勢の人たちの前で子どもたちは少し緊張した様子。高木市長から正賞や賞状などが手渡されました。贈呈式の後には入賞者や選考委員らの詩人による朗読会も盛大に。

郷土芸能を大会で伝承



11月19日、市民文化会館で郷土芸能大会が開催。貴重な郷土芸能を伝承するため昭和48年から行われています。4つの市指定の文化財を含む、7団体が公演。新前橋町の「新前橋祭ばやし」では次代を担う子どもたちが練習の成果を披露。会場の人たちはふるさとへの愛着を深めていました。

にぎわいで 県都の再生

本市は、県都として発展を続け、昨年の合併で人口三十二万人の大きな都市に生まれ変わりました。

しかし、中心市街地の空洞化は深刻な問題です。このため、まちの「顔」である中心市街地の活性化を最重要課題に位置付け、街なかににぎわいを取り戻したいと、さまざまな施策を展開しています。

今日から公共文化政策と都市新生をテーマに、都市再生へのアートの役割を考えるフォーラムが、中心市街地で開催されることを意義深く感じています。

元気で楽しい前橋を実現する上の参考とし、県都前橋の再生を図ります。(第三回アートNPOフォーラム in 前橋、十一月五日)

